

こんな活動です

# 小学校裏の雑木林を子供たちの居場所にした放課後子供教室です。

石川県白山市

活動名

はくれない森の放課後

関係する学校名

白嶺小学校

基本データ	学校支援活動	総括コーディネーター数	地域コーディネーター数	ボランティア登録数	学習支援	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携	
	地域未来塾	総括コーディネーター数	地域コーディネーター数	ボランティア登録数	子供の平均参加人数	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携	
	放課後子供教室	総括コーディネーター数	地域コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携	
		1人	0人	12人	22日	21年度	有	無	有	
		実施場所		学習支援	放課後児童クラブとの連携					
		白山市瀬戸中		無	連携型					
土曜日の教育活動	総括コーディネーター数	地域コーディネーター数	子供の平均参加人数	学習支援	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携		
	1人	0人	15人	無	21年度	有	無	無		
コミュニティ・スクール	指定日					委員数	児童生徒数	学級数		

体制図

白山麓ぶなもり自然塾

地元の住民で、自然について詳しい人たちや子供たちの活動を温かく見守る人たちにより構成している。  
主なメンバーは6人で、活動内容によって、随時住民等の協力をいただきながら活動を行う。

(連携)

白嶺小学校、白嶺っ子クラブ(放課後児童クラブ)、尾口ホテルの会など

**活動の概要・経緯**  
豊かな自然の中で子供たちを育むことを目的として、平成21年度から放課後や週末の子供たちの居場づくりを行っている。当初は、小学校のすぐ近くにある豊かな雑木林を誰もが訪ねることができる場所にしたいという思いから、子供と大人と一緒にツリーハウスを作ったことが始まりである。その後、シンボルとなっているツリーハウスを基地にして定期的に遊ぶ空間や時間を確保するため、放課後子供教室の実施につながった。住民による「白山麓ぶなもり自然塾」を結成し、現在は、毎週水曜日の放課後に子供たちと地元の人たちとが関わりながら自由に遊ぶ活動を展開している。また、週末にも月1・2回程度、同様の活動を行っている。

## ● 活動の特徴・工夫

### 【特徴的な活動内容】

地域に広がる自然の中で子供たち自らの発想による遊びをねらいとしている。大人がきっかけを作り、子供が考えて遊ぶという姿勢により、子供たちは自由な発想で遊びを作り出し、主体的に活動に取り組んでいる。主な活動として、昆虫採集や木の実集め、木の家作りなどが挙げられる。これらの活動を通して、季節の移り変わりを敏感に感じ取っている様子である。また、週末の活動では、フィールドを拡大し、ホテルやギフチョウ、アサギマダラなど地域に棲む生き物の観察などを行っている。

### 【実施に当たっての工夫】

目の前に豊かな自然が広がっていても、そこでどのように遊んでよいかわからない子供もいることから、大人の側から遊びをしかけたり、遊びやすい雰囲気を作り、子供たちの反応を確認しながら環境づくりを行っている。毎年参加し、このフィールドをよく知っている子供も増えてきたことから、地図とコンパスを持たせて歩く活動や、コンロを使ってお湯を沸かすなどの活動を組み込み、子供たちが新たな発見をするようにしている。また、子供たち同士で知識を伝え合うことができるよう導いている。

## ● 事業を実施しての効果・成果

子供たちが自分で考えて活動に取り組むように仕向けていることから、子供たちに自主性や主体性が生まれてきている。さらに、異学年の友だちと遊ぶことにより、社会性や道徳性も育まれている。また、地元の自然に触れる活動を通して、子供から親や他の友だちにその良さが伝えられ、参加している子供自身だけではなくその家族もこのフィールドを訪れるようになり、多くの人が地元の自然に愛着を持つようになってきている。



「何かいる！」  
毎回発見がある。



焚き火をしながら  
おやつも作る。